



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL http://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 小野寺 純 TEL 03-6380-7490
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	42	15.0	△740	—	△674	—	△674	—
28年12月期第3四半期	36	△6.4	△701	—	△691	—	△689	—

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 △667百万円 (—%) 28年12月期第3四半期 △771百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	△67.46	—
28年12月期第3四半期	△75.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	1,579	1,367	85.6	122.79
28年12月期	1,343	1,164	85.4	124.56

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 1,352百万円 28年12月期 1,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100	99.3	△1,250	—	△1,230	—	△1,230	—	△135.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	11,014,419株	28年12月期	9,214,419株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	127株	28年12月期	127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	10,006,233株	28年12月期3Q	9,098,379株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需が本格的に増加しつつあり、生産活動は回復が続いております。また、雇用・所得環境の改善を受けて個人消費も改善しております。世界経済におきましては、米国や欧州が堅調に推移し、中国についても緩やかな景気拡大が続いております。

先端医療・再生医療分野におきましては、ビジネス化に向けて複数企業による積極的な参入が進むなどの盛り上がりを見せており、将来における期待度・関心度はますます高まっております。

以上のような環境の下、当社グループは再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は42,303千円(前年同四半期比5,548千円の増加)、営業損失は740,125千円(前年同四半期比38,130千円の増加)、経常損失は674,285千円(前年同四半期比17,041千円の減少)、親会社株主に帰属する四半期純損失は674,998千円(前年同四半期比14,733千円の減少)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、温度応答性細胞培養器材に関する研究開発活動に取り組みました。また販売面では、販売促進活動に取り組みつつ、年内販売開始予定のセルシード独自の技術による温度応答性細胞培養器材の新規商材の開発を推進し、平成29年9月28日～30日にパシフィコ横浜で開催された、「第76回日本癌学会学術総会 付設展示会」において、本新規商材の発表をいたしました。

以上のような結果、売上高は42,303千円(前年同四半期比5,548千円の増加)、営業損失は78,172千円(前年同四半期比12,243千円の増加)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

軟骨再生シート再生医療製品パイプラインにおきましては、共同研究先である東海大学にてこれまでに8症例の自己細胞を用いた軟骨再生シートの臨床研究が進められ、安全性・有効性共に良好な結果が得られました。今般、東海大学は自己細胞を用いた軟骨再生シートについて、臨床研究時よりも適応面積の拡大を検証することで、企業治験に資するデータを収集することができ、より多くの変形性膝関節症患者を対象にすることを目的として、先進医療申請準備を検討されております。また、当該先進医療の実施について、東海大学では当社に細胞シートの受託加工を検討頂いております。当該先進医療の実施は、当社といたしましても将来的な保険導入のための評価の一助となることから非常に有用であると考えております。当社はこれを踏まえて今期中の治験開始予定としておりました計画を修正して、先進医療実施後に評価内容を踏まえて治験を開始することといたしました。なお、当該先進医療が厚生労働省より承認を受けて開始した際には、当社は一部受託加工による収益を獲得しつつ、引き続き開発を進めて参る予定でございます。

また、台湾では当社支援のもとで細胞シート再生医療事業の開発・事業化が進んでおり、9月には台湾の事業提携先であるMetaTech社から事業提携に係る入金(前受金として60,000千円)が開始いたしました。

以上のような活動の結果、営業損失は427,216千円(前年同四半期比15,610千円の増加)となりました。(当該事業は現在事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて234,681千円増加し、1,494,164千円となりました。これは主に、現金及び預金が338,763千円増加する一方で、売掛金が45,706千円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて236,218千円増加し、1,579,734千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて36,552千円増加し、212,715千円となりました。これは主に、前受金が32,827千円増加したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて33,647千円増加し、212,715千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて202,570千円増加し、1,367,019千円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ436,225千円増加する一方、親会社株主に帰属する四半期純損失674,998千円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年2月16日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,389	1,395,152
売掛金	59,791	14,085
商品及び製品	28,640	27,645
原材料	—	224
仕掛品	—	1,995
貯蔵品	4,520	3,229
前払費用	15,006	14,047
その他	95,134	37,784
流動資産合計	1,259,483	1,494,164
固定資産		
有形固定資産	21,704	22,818
無形固定資産	—	691
投資その他の資産	62,328	62,060
固定資産合計	84,033	85,570
資産合計	1,343,516	1,579,734
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,522	4,249
未払金	72,945	73,682
未払法人税等	6,169	3,192
賞与引当金	—	13,554
前受金	62,544	95,372
その他	28,980	22,664
流動負債合計	176,163	212,715
固定負債		
その他	2,904	—
固定負債合計	2,904	—
負債合計	179,067	212,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,969,436	3,405,661
資本剰余金	191,233	627,458
利益剰余金	△1,998,503	△2,673,501
自己株式	△201	△201
株主資本合計	1,161,964	1,359,416
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△14,204	△6,927
その他の包括利益累計額合計	△14,204	△6,927
新株予約権	16,688	14,530
純資産合計	1,164,448	1,367,019
負債純資産合計	1,343,516	1,579,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	36,754	42,303
売上原価	15,535	16,900
売上総利益	21,218	25,402
販売費及び一般管理費		
研究開発費	393,956	438,981
その他	329,256	326,546
販売費及び一般管理費合計	723,213	765,528
営業損失(△)	△701,994	△740,125
営業外収益		
受取利息	203	13
補助金収入	9,258	72,581
その他	2,830	2,325
営業外収益合計	12,292	74,919
営業外費用		
為替差損	139	547
株式交付費	1,486	4,038
支払手数料	—	4,238
その他	—	255
営業外費用合計	1,625	9,079
経常損失(△)	△691,327	△674,285
税金等調整前四半期純損失(△)	△691,327	△674,285
法人税、住民税及び事業税	972	712
法人税等調整額	△2,567	—
法人税等合計	△1,595	712
四半期純損失(△)	△689,732	△674,998
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△689,732	△674,998

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△689,732	△674,998
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△81,472	7,277
その他の包括利益合計	△81,472	7,277
四半期包括利益	△771,205	△667,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△771,205	△667,721
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ436,225千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,405,661千円、資本準備金が627,458千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注)1			調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,754	—	36,754	—	36,754
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	36,754	—	36,754	—	36,754
セグメント損失(△)	△65,929	△411,606	△477,535	△224,459	△701,994

(注)1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△224,459千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(注)1			調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,303	—	42,303	—	42,303
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	42,303	—	42,303	—	42,303
セグメント損失(△)	△78,172	△427,216	△505,389	△234,736	△740,125

(注)1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△234,736千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金（現金及び預金）残高は1,056,389千円となり、財務基盤については一定水準を保持して推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と器材事業の拡充による収益機会の獲得

当社グループは、今後、食道再生上皮シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また再生医療製品の関連周辺機器の開発を拡充し、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。